

## 矢板に新しい風を巻き起こせ!! 矢板武塾でまちづくりを学んだ高校生

矢板武塾とは、矢板の礎を築いた「矢板武」の精神を受け継いで「現代のまちづくり」を学び、考え・実践するまちづくり塾です。本年度十三回を迎え、毎回まちづくりをテーマにしています。

今回の第十三期生十三人には九人の高校生(矢板東、矢板、矢板中央それぞれ三人)が学び、その成果を、十二月十七日生涯学習館で初めてふるさと創年大学生と合同で発表会を行いました。高校生にどのような気持ちで参加したのか、今後どのように活動していくのかなどを聞きました。(矢板の歴史を学んだ高校生との思いから、齋藤市長が各高校に参加を呼び掛けました。)

●矢板武塾に参加したきっかけは？  
先生から勧められたこともありますが、地域活動に参加したことが無かったので、いい機会だと思ったから。

●まちづくりに必要なことは？  
そのまことに有るもの、無いもの・良いところ、悪いところなどを深く知ること。そして、どう変化させるか、深化させるかが重要だと思う。

●発表のテーマを選んだ理由は？  
多くの市民からの意見や要望を集め、若い人の考えの活用や多くの市民の協力が必要だと思う。

①高校生のための勉強、交流のスペースづくりプラン  
市内の高校(一・二年生)、中学校(三年生)のアンケートを約一七〇人から集め、要望の多かった勉強、交流スペースが少ないとの意見を参考に、矢板市を発展させるためには、未来を背負っていく高校生の勉強スペースや情報交換の場を確保する必要があると思ったから。

②高校生が遊べる場所づくりプラン  
高校が三校もありながら矢板市に遊ぶ場所が少ないと考え、作ったら居住者も増えるのではないかと考えた。



卒塾証書授与のようす

かと思えた。土日に市街地がシャッター街のようになっている中で、高校生が気軽に遊べる(立ち寄れる)場所を作ったら、矢板市全体が活性化するのはないかと思ったから。

●塾で学んで良かったことは？  
実際にまちを歩いて、人通りが少なくシャッターが閉まっていること。道路が補修されていないところやバス路線が限られている。学生の気軽に遊べるところが少ない。観光地も整備されていないなど、案内の表示が少ない

●今後どのようにまちづくりに関わっていくのか？  
矢板武塾でのアンケートを教育委員会などに提出し、学生が考えていることを伝えて、理解を求め、ぜひ気軽に勉強や交流できる場所を駅前につくってほしいと思っている。



矢板武塾第13期生の皆さん

●生涯学習課が武塾生と創年大学生の合同発表会を開催した理由は？  
まちづくりを目的とする二つの団体(矢板武塾と創年大学)が一緒に発表することにより、お互いが活動を知り刺激を受けられるのではないかと考えたためです。

●今回の発表会を開催して、どうでしたか？  
多くの人たちの前で発表したのは、塾生の成長につながったと思います。また、創年大学生の発表を聞くことにより、矢板に対する興味・関心が深まったと考えています。

●市長として、高校生の発表をどう受け止めましたか？  
特に市外から通学してくれている高校生は、矢板市にとって貴重な「交流人口」の皆さんです。そうした高校生にも喜んでもらえるようなまちづくりを推進するために、今回の発表は大いに参考になりました。

●これから高校生の皆さんの活躍に期待しています。